

2016年8月18日

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

AIG ジャパン 神戸製鋼コベルコスティーラーズと パートナー契約を締結

地域コミュニティでの、ラグビーのグラスルーツ活動を強化

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社（以下、AIG ジャパン）は、2016年7月1日に、兵庫県を拠点に活動するラグビーチーム「神戸製鋼コベルコスティーラーズ（以下、コベルコスティーラーズ）」とパートナー契約を締結しました。

AIG ジャパンは、ラグビーの持つ団体競技ならではのチームワークを重視する姿勢が AIG グループの求めるバリューに共通することから、2013年より日本ラグビー協会（JRFU）から「ジャパンラグビー グラスルーツパートナー」の称号を得て、日本におけるラグビー普及活動を支援しています。

今回、地域コミュニティでのラグビーのグラスルーツ活動（草の根運動）の強化を目的に、地元ファンからの厚い支持を受けているコベルコスティーラーズとパートナー契約を締結し、日本におけるラグビーの普及を地方からも支援してまいります。このパートナー契約に伴い、今年よりコベルコスティーラーズのジャージーの背中には AIG のロゴが配置されます。

コベルコスティーラーズは、これまでも学校訪問などでラグビーのグラスルーツを展開していましたが、この度のパートナー契約により、AIG ジャパンと JRFU が行っている取り組みとの連携や相乗効果が期待されます。また AIG ジャパンが行っているオリジナルのタグラグビーキットの進呈を、コベルコスティーラーズの学校訪問と連携することで、地元の子どもたちがラグビーに接する機会を増やしていきます。

今回のパートナーシップ契約について AIG ジャパンのロバート・L・ノディン代表取締役社長兼 CEO は、「私たちはトップリーグでも常に上位に入る、神戸製鋼コベルコスティーラーズのパートナー企業となることができたいへん光栄です。また、スティーラーズは、JRFU のグラスルーツパートナーである AIG と同様に、地域コミュニティでのラグビーの発展に貢献されています。88年ものチームの歴史がそういった貢献の証だといえるでしょう。2019年のラグビーワールドカップ開催都市である神戸市とスティーラーズはこれからさらにラグビーの発展に努めていかれるでしょう。AIG もそれに協力できることをたいへんうれしく思っています。」と述べております。

AIG ジャパンはコベルコスティーラーズとともに、2019年に開催されるラグビーワールドカップ開催都市でもある神戸市でのラグビー普及活動を支援するとともに、日本におけるラグビーの普及に貢献してまいります。

<AIG について>

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、100 以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919 年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、リタイアメント商品、ノーゲージ保険およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIG グループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の試算を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc. はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

日本では、AIU 損害保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIG 富士インシュアランスサービス株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。詳細は、ウェブサイト www.AIG.com をご覧ください。